

回復期リハビリテーション病棟（B3北）

I.退棟患者数（2026年4月～6月）

- ① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

62名

61名

③	② 状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2か月以内	23名	37.1%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内	25名	40.3%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	5名	8.1%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後1か月以内	1名	1.6%
5	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	5名	8.1%
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	3名	4.8%

II.実績指数（前月までの6ヶ月間）※2026年1月～6月

- ④ 実績指数（⑥/⑦） 2026年6月
⑤ 実績指数の計算対象とした患者数
⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除したものの総和
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和

49.81点

(1月～6月)
88名

2604点

52.27

⑥ 実績指数（⑥/⑦） =
$$\frac{\text{⑥ FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時（対象患者の合計）}}{\text{⑦ 存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）}}$$

実績指数 回復期リハビリテーション病棟単位

49.8点

2026年7月1日
新百合ヶ丘総合病院

回復期リハビリテーション病棟（B3南）

I.退棟患者数（2026年4月～6月）

- ① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

57名

54名

③	② 状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2か月以内	30名	55.55%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内	20名	37.03%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	2名	3.70%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後1か月以内	1名	1.85%
5	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	0名	0%
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	1名	1.85%

II.実績指数（前月までの6ヶ月間）※2026年1月～6月

- ④ 実績指数（⑥/⑦） 2026年6月
⑤ 実績指数の計算対象とした患者数
⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除したものの総和
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和

46.39点

85名

2326点

50.14

⑥ 実績指数（⑥/⑦） =
$$\frac{\text{⑥ FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時（対象患者の合計）}}{\text{⑦ 存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）}}$$

実績指数 回復期リハビリテーション病棟単位

46.39点

2026年7月1日
新百合ヶ丘総合病院